



さまざまな文化に親しむ ～第52回市総合文化祭



第52回市総合文化祭が、10月27日から11月4日まで開催されました。展示部門では、生花や書道、絵画、学習成果などが市民会館と南溟館で展示されました。

3日に市民会館で行われた市民芸能祭には34団体が出演し、日本舞踊やクラシックバレエ、楽器の演奏などを披露したほか、特別出演として、元「敏いとう」とハッピー&ブルーボーカルの宮本弘美さんのコンサートも行われました。

また、この日は今年の4月に市内の有志団体からいただいた寄附金でオーバーホールを行ったグランドピアノが初披露され、美しい音色を奏でていました。



第6回消防フェスタを開催



秋の火災予防運動週間中の11月9日、消防フェスタが開催されました。今年は天候の関係で総合体育館での開催となりましたが、ふじ幼年消防クラブ、立神海の風幼年消防クラブ、妙見幼年消防クラブ、市内5婦人防火クラブが参加しました。

参加者は、かけっこカード合わせや「火事だー」という声の大きさを競う大声コンテスト、ミニ消防隊出動ゲームなどさまざまな競技を楽しみ、交流を深めました。

最後は、幼年消防クラブ員と婦人防火クラブ員が全員で防火の誓いを行いました。



各学校が特色ある行事を実施 ～地域が育む「かごしまの教育」県民週間



11月1日から7日は、地域が育む「かごしまの教育」県民週間でした。期間中は市内小・中学校でさまざまな取り組みが行われ、一般公開されました。

11月2日には、桜山小学校で同校の5年生を対象に「おいしいお茶の入れ方教室」が開催されました。児童たちは、市茶業青年の会のメンバーから適切なお湯の温度やお茶の葉の量、お茶の注ぎ方などを教わった後、自分たちで入れたおいしいお茶を味わいました。



桜山中学校が優勝 ～第66回市内一周駅伝競走大会



市内一周駅伝競走大会が11月4日、市役所をスタート・ゴールとする市内一円19.1kmを周るコースで行われました。小学生から一般まで11チームが出場し、力走をみせていました。

各部門の1位とタイムは次のとおりです。

- 【高校・一般の部】別府中駅伝OB(1時間13分40秒)
- 【中学生男子の部】桜山中学校(1時間9分54秒)
- 【中学生女子の部】桜山中女子バレー部+α(1時間21分53秒)
- 【小学生男子の部】立神サッカースポーツ少年団(44分46秒)
- 【小学生女子の部】立小 海(49分20秒)



①記念式典の様子 ②浜畑賢吉氏の講演 ③出演者による劇 ④原口泉教授らによる解説
⑤フィナーレを飾った「マクラサンバ」の合唱

午後からは記念事業として、総勢157名による歴史エンターテイメント「薩摩藩西郷どんと生きた人々」が行われました。俳優・演出家で大阪芸術大学舞台芸術学科長の浜畑賢吉氏による「浜崎大平次を語る」と題した講演が行われた後、鹿児島志學館大学教授の原口泉教授と原口泉研究室秘書の下豊留佳奈氏の解説を交えながら、劇や歌などにより西郷どんが生きた時代が舞台上で再現され、西郷どんと生きた南薩の人々にまつわるエピソードが繰り広げられました。また、市内有志の小学生から一般の方による、大河ドラマ「篤姫」と「西郷どん」のテーマソングの吹奏楽演奏も行われました。フィナーレは、この日初披露された「マクラサンバ」で会場が一体となつて盛り上りました。

北海道胆振東部地震災害義援金へのご協力ありがとうございました

市では北海道胆振東部地震で被災された多くの方を支援するため、義援金の募集を行ってきましたが、10月31日で受付を終了しました。市民の皆さんのご協力ありがとうございました。

寄せられた義援金(64,444円)は、日本赤十字社を通じて被災地へ配分されます。

市役所の人事異動

市立病院

異動(11月1日付)

一般職

枕崎市立病院看護師(新規採用) 柳田耕平



30・10運動へのご協力をお願いします。

30・10(さんまる・いちまる)運動とは、「会食や宴会等の乾杯後30分間は、席を離れずに料理を楽しみましょう。お開き前10分間は、自分の席に戻って残りの料理を楽しみ、食べ残しをなくしましょう」という運動です。これから会食や宴会で、食べ残しを減らすために「30・10(さんまる・いちまる)運動」へのご協力をお願いします。

捨てる量が減るとごみの減量化に繋がり、エネルギーの節約により地球温暖化対策にも繋がっていきます。皆さんのご協力と呼びかけをよろしくお願いします。



「文化のまち枕崎」が躍動

市内40の文化団体でつくる枕崎市文化協会が今年で創立50周年を迎え、記念式典及び記念事業が11月4日、市民会館で開催されました。

午前中に行われた記念式典では、市の文化振興に貢献された6名、6団体の方々の表彰が行われたほか、50周年記念のスライド上映なども行われました。

午後からは記念事業として、総勢157名による歴史エンターテイメント「薩摩藩西郷どんと生きた人々」が行われました。俳優・演出家で大阪芸術大学舞臺芸術学科長の浜畑賢吉氏による「浜崎大平次を語る」と題した講演が行われた後、鹿児島志學館大学教授の原口泉教授と原口泉研究室秘書の下豊留佳奈氏の解説を交えながら、劇や歌などにより西郷どんが生きた時代が舞台上で再現され、西郷どんと生きた南薩の人々にまつわるエピソードが繰り広げられました。また、市内有志の小学生から一般の方による、大河ドラマ「篤姫」と「西郷どん」のテーマソングの吹奏楽演奏も行われました。フィナーレは、この日初披露された「マクラサンバ」で会場が一体となつて盛り上りました。